



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)直山 秀人
 問合せ先責任者 (役職名)総務課長 (氏名)西川 康一 (TEL) 076-277-7530
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 114 | 16.8 | 0 | — | 2 | — | 3 | △65.3 |
| 26年3月期第1四半期 | 98 | △21.6 | △8 | — | △6 | — | 9 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 6百万円(△3.3%) 26年3月期第1四半期 6百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 0.26 | — |
| 26年3月期第1四半期 | 0.76 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 2,003 | 1,102 | 55.0 |
| 26年3月期 | 1,987 | 1,096 | 55.1 |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,102百万円 26年3月期 1,096百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-----|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 225 | 8.8 | 5 | — | 5 | — | 5 | — | 0.40 |
| 通期 | 440 | 10.7 | 7 | — | 1 | — | 1 | — | 0.08 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年3月期1Q | 12,911,000株 | 26年3月期 | 12,911,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期1Q | 557,767株 | 26年3月期 | 557,282株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年3月期1Q | 12,353,476株 | 26年3月期1Q | 12,354,207株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| （1）経営成績に関する説明 | 2 |
| （2）財政状態に関する説明 | 2 |
| （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| （1）四半期連結貸借対照表 | 4 |
| （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| （継続企業の前提に関する注記） | 8 |
| （株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） | 8 |
| （セグメント情報等） | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、増税直後の4月は消費増税駆け込み需要の反動により、消費は落ち込み景況感は急速に悪化しました。4-6月期はマイナス成長の見込みであるものの、7月以降は政府予算の着実な執行による景気下支えと企業収益改善により、大企業中心に設備投資が増加見込みから、緩やかな回復が期待されております。

しかしながら先行きにつきましては、2015年10月増税の判断の影響や、中国・新興国の景気減速など海外景気の下振れリスクや、原油高からの原燃料・材料の高騰による影響が懸念されております。

繊維景況は、消費増税後の落ち込みが懸念されましたが、落ち込み幅は想定より小さく、衣料関係では百貨店の衣料品販売も4月は大きく落ち込んだものの、月を追うごとに回復基調は鮮明となってきております。

高密度長繊維織物のアウトドアスポーツ関係では、輸出案件が引き続き堅調な荷動きで採算も改善しております。一方、ユニフォーム・ワーキングウェア関係は、在庫調整も終わり実需に見合った安定した動きとなっております。資材関係では、自動車生産台数の戻りが速く需要の落ち込みは軽微で推移しております。

当社の産業資材分野では、主力商品であるアラミド繊維（高機能難燃繊維）・高強度繊維ともに需要が回復し、アラミド繊維全体の売上高は、前年同四半期に比べ10,867千円増加し、55,199千円となりました。

また、一般紡績糸はユニフォーム用・インテリア用ともに減少となりましたが、高機能インナー用紡績糸の需要が急増し、前年同四半期比3.8倍と大幅増加となりました。これにより、一般紡績糸分野の売上高は、前年同四半期に比べ5,626千円増加し、59,409千円となりました。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、各素材の需要回復により、売上高は、前年同四半期に比べ16,493千円増加し、114,609千円となりました。営業利益は349千円（前年同四半期は8,701千円の営業損失）、経常利益は2,698千円（前年同四半期は6,547千円の経常損失）となりました。当期純利益は3,237千円（前年同四半期は9,344千円の四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ16,122千円(0.8%)増加し、2,003,741千円となりました。この増加の主な要因は、売掛金及び受取手形が19,112千円増加したことにより流動資産が17,582千円、投資有価証券の時価が上昇したことにより投資その他の資産が4,727千円増加した一方で、減価償却費の計上により有形固定資産が6,032千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9,823千円(1.1%)増加し、901,440千円となりました。この増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が6,621千円増加したことにより、流動負債が8,837千円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6,299千円(0.6%)増加し、1,102,301千円となりました。この増加の主な要因は、保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が3,081千円、四半期純利益を計上したことにより、利益剰余金が3,237千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想については、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで継続的に営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、製造コスト・販売費及び一般管理費の更なる削減及び生産工程の効率化に取り組みながら、受注量の確保・拡大を喫緊の課題として取り組んでおります。具体的には、従来の基幹商品でありますポリエステル系の生産量を確保しつつ、取引先との技術提携をより強固にしながら、高機能繊維のアラミド系の高付加価値化を図り、既存の防護衣料分野での用途拡大に加え新規用途開発に取り組みます。

また、昨年より本格生産に移行した当社独自の生産技術による健康肌着用糸は、その受注量において大きな展望が望める中で、新原糸の開発ピッチを速め、新規取引先の開拓に取り組みます。これらの生産販売を速やかに効率的に展開するためには、営業力強化も重要施策です。人件費を抑えながら、社内の担当替えによる営業人員の増員を図り、既取引先への販売深耕は言うに及ばず新規先の開拓に努めます。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する不確実性が認められます。

なお、当四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 73,921 | 67,927 |
| 受取手形及び売掛金 | 30,196 | 49,308 |
| 製品 | 8,154 | 4,057 |
| 仕掛品 | 3,292 | 4,034 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,701 | 2,091 |
| その他 | 2,650 | 10,079 |
| 流動資産合計 | 119,916 | 137,499 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 594,312 | 588,617 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 58,672 | 58,250 |
| 土地 | 858,464 | 858,464 |
| リース資産（純額） | 4,518 | 4,238 |
| その他（純額） | 3,373 | 3,738 |
| 有形固定資産合計 | 1,519,341 | 1,513,309 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 137 | 34 |
| ソフトウェア | 662 | 610 |
| 施設利用権 | 807 | 807 |
| 無形固定資産合計 | 1,607 | 1,452 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 335,883 | 340,623 |
| その他 | 10,869 | 10,857 |
| 投資その他の資産合計 | 346,752 | 351,480 |
| 固定資産合計 | 1,867,702 | 1,866,242 |
| 資産合計 | 1,987,619 | 2,003,741 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,336 | 11,957 |
| 短期借入金 | 523,000 | 520,000 |
| リース債務 | 1,064 | 859 |
| 未払法人税等 | 1,552 | 669 |
| 賞与引当金 | 5,031 | 2,762 |
| その他 | 29,285 | 37,858 |
| 流動負債合計 | 565,270 | 574,107 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 3,824 | 3,626 |
| 繰延税金負債 | 55,688 | 56,638 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 251,294 | 251,294 |
| 役員退職慰労引当金 | 10,439 | 10,439 |
| 退職給付に係る負債 | 5,100 | 5,332 |
| 固定負債合計 | 326,346 | 327,332 |
| 負債合計 | 891,617 | 901,440 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 714,000 | 714,000 |
| 資本剰余金 | 1,257 | 1,257 |
| 利益剰余金 | △44,058 | △40,821 |
| 自己株式 | △57,376 | △57,395 |
| 株主資本合計 | 613,821 | 617,040 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 34,356 | 37,437 |
| 土地再評価差額金 | 447,824 | 447,824 |
| その他の包括利益累計額合計 | 482,180 | 485,261 |
| 純資産合計 | 1,096,001 | 1,102,301 |
| 負債純資産合計 | 1,987,619 | 2,003,741 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 98,115 | 114,609 |
| 売上原価 | 83,313 | 90,131 |
| 売上総利益 | 14,801 | 24,477 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び保管費 | 2,016 | 1,748 |
| 役員報酬 | 3,135 | 3,015 |
| 給料及び手当 | 7,331 | 7,922 |
| その他 | 11,019 | 11,441 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 23,502 | 24,127 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △8,701 | 349 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 2 |
| 受取配当金 | 3,822 | 4,488 |
| 不動産賃貸料 | 2,254 | 1,851 |
| その他 | 816 | 569 |
| 営業外収益合計 | 6,896 | 6,912 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,154 | 4,008 |
| その他 | 588 | 554 |
| 営業外費用合計 | 4,742 | 4,563 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △6,547 | 2,698 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 15,271 | — |
| 特別利益合計 | 15,271 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,723 | 2,698 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 127 | 169 |
| 法人税等調整額 | △748 | △708 |
| 法人税等合計 | △621 | △538 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,344 | 3,237 |
| 四半期純利益 | 9,344 | 3,237 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,344 | 3,237 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | △2,807 | 3,081 |
| その他の包括利益合計 | △2,807 | 3,081 |
| 四半期包括利益 | 6,536 | 6,318 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,536 | 6,318 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当社グループは、前連結会計年度まで継続的に営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、製造コスト・販売費及び一般管理費の更なる削減及び生産工程の効率化に取り組みながら、受注量の確保・拡大を喫緊の課題として取り組んでおります。具体的には、従来の基幹商品でありますポリエステル糸の生産量を確保しつつ、取引先との技術提携をより強固にしながら、高機能繊維のアラミド糸の高付加価値化を図り、既存の防護衣料分野での用途拡大に加え新規用途開発に取り組めます。

また、昨年より本格生産に移行した当社独自の生産技術による健康肌着用糸は、その受注量において大きな展望が望める中で、新原糸の開発ピッチを速め、新規取引先の開拓に取り組めます。これらの生産販売を速やかに効率的に展開するためには、営業力強化も重要施策です。人件費を抑えながら、社内の担当替えによる営業人員の増員を図り、既取引先への販売深耕は言うに及ばず新規先の開拓に努めます。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する不確実性が認められます。

なお、当四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループの事業は、紡績糸の生産・販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。